

事務事業実績測定調書

R4調書番号 025

事務事業名称	下水道施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	下水道施設を利用している市民			
	サブターゲット	下水道施設を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	下水道管理施設の清掃及び維持補修等が必要となった場合に、施工規模、難易度、施工内容、緊急性等を考慮した中で、直営と業者対応を見極めて、迅速に対応する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						下水道施設が適正に維持管理された。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				清掃及び維持補修等の実施件数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標							
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					75	77.50	80	82.50	1,190	1,200	1,210	1,220
	実績					83	73.46	52.57		951	893	847	
達成度						134%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	19.10
再任用	1.66
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	161,965	158,753	157,567		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	161,965	158,753	157,567		
	物件費計	289,717	295,058	319,061	365,043	87.4%
	歳出計	451,682	453,811	476,628		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	900	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	900	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	289,717	294,158	319,061	365,043	

5. 総括的分析

総括的分析	下水道施設の老朽化に伴い、維持補修件数並びに支出額が増額傾向と推測していましたが、令和4年度はともに若干減少致しました。 これは、一過性のものと思われ、令和5年度以降は微増での増大傾向に戻るものと考えています。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	緊急性や費用対効果を考慮して、効率的且つ効果的な維持管理を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 036

事務事業名称	ポンプ場維持管理業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の市民			
	サブターゲット	雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の事業者			
	ターゲットが抱える課題	雨水ポンプ場施設の老朽化に伴う不具合による浸水被害への懸念。			
	ターゲットが抱える課題	汚水ポンプ施設の老朽化等に伴う不具合による生活環境への影響。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ポンプ場維持管理の充実による、浸水被害の軽減及び生活環境の維持あるいは向上している状態。				
事業概要	各ポンプ場施設及び、各機器の点検や整備を継続的に行うことにより、雨水排水や生活排水を円滑に行い、まちの安心・安全を高める。 年間を通じて、市内各施設(50箇所)の維持管理を行う。 【各施設の箇所数】 ・雨水大ポンプ場 8箇所 ・雨水小ポンプ場他雨水施設 26箇所 ・汚水中継ポンプ場 2箇所 ・汚水マンホールポンプ他汚水施設 14箇所 【維持管理方法】・各種委託、小規模修繕、直営による保守点検整備				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						雨水排水や生活排水が円滑に行われた。				ポンプ場の維持管理が適正に行われる。			
指標設定	指標説明					雨水ポンプ場保守運転回数				ポンプ場点検回数			
	指標種類					単位 回				単位 回			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					1,075	1,075	1,075	1,075	400	400	400	400
	実績					2,788	2,569	1,273		527	528	530	
達成度						0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	16.68
再任用	0.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	136,428	132,303	131,513		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	136,428	132,303	131,513		
物件費計	205,429	210,741	247,431	255,613	96.8%	
歳出計	341,857	343,044	378,944			
歳入	国庫支出金	0	300	303	240	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	50	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	350	303	240	
一般財源（物件費に充当されるもの）	205,429	210,391	247,128	255,373		

5. 総括的分析

総括的分析	ポンプ場については、老朽化が進んでいる事から適正に維持管理を行うことが必要なため、維持管理費が増加していくものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	雨水ポンプ場等については直営及び委託等による点検整備を継続的に行い、運転を円滑に行えるよう維持管理に努める。 汚水中継ポンプ場については委託による点検整備を継続的に行い、流域下水道（終末処理場）へ排除し、処理が適切に行えるよう維持管理に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 678

事務事業名称	景観水路維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法第4条第1項又は第25条の3第1項、並びに景観法第7条第4項				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	景観水路を利用する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	老朽化による施設の利用制限。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の憩いの場として、親しまれるような水辺空間を提供できるように、景観水路の維持管理が適正にできている状態。				
事業概要	<p>景観水路の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場として、親しまれる水辺の空間を提供する。直営及び委託により、せせらぎ水路の定期的な保守点検及び清掃を行い、維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設名 せせらぎ水路 (渚水みらいセンター高度処理水ポンプ放流式) 維持管理内容 (委託) 日常管理・水質管理 (直営) ゴミ回収 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			親しまれる水辺の空間を提供した。				景観水路の適切な維持管理を行う。			
指標設定	指標説明		当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				委託などによる業務件数			
	指標種類		単位				単位 件			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		67.50	70	90	90	6	2	2	2
	実績		56	58	99		4	2	2	
達成度			0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.43
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	11,419	11,834	11,675		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,419	11,834	11,675		
	物件費計	22,306	22,306	6,112	8,143	75.1%
歳出計		33,725	34,140	17,787		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		22,306	22,306	6,112	8,143	

5. 総括的分析

総括的分析	せせらぎ水路について適切に維持管理が実施されていた。
-------	----------------------------

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	令和4年度末をもって、せせらぎ水路の機能廃止が決定した為。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 811

事務事業名称	北部別館維持管理業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	費用対効果を踏まえ効率的で効果的な当該施設の維持管理。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当該施設の維持管理を充実させることにより、就労環境が整備できている状態。				
事業概要	年間を通じて、北部別館庁舎の維持管理を行う。 ・定期清掃・設備機器(電気・空調・火災報知器)の保守点検 ・警備業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						北部別館庁舎が適正に維持管理された。				必要な保守点検等を実施する。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				北部別館庁舎を適切に維持管理するための保守点検等の件数				
	指標種類					単位	%	単位	件					
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					95	95	95	95	5	5	5	5
	達成度					0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.72
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	14,515	13,514	13,437		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,515	13,514	13,437		
	物件費計	13,501	13,501	41,530	43,058	96.5%
歳出計		28,016	27,015	54,967		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	355	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	355	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		13,501	13,146	41,530	43,058	

5. 総括的分析

総括的分析	恒常的かつ適正な庁舎の保守点検で、北部別館の修繕等が発生せず、予算通りの支出を執行しました。北部別館清掃委託が令和4年度より複数年契約となり、その際の落札率が約60%であったことからそれが起因して実績(率)が大幅に下がりました。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	北部別館庁舎の修繕等が極力発生しない様、職員による適切な庁舎使用、並びに維持管理を心掛ける様に努め、恒常的な保守点検を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 894

事務事業名称	下水道施設維持課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	下水道施設維持課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に図られている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.07
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	16,508	16,264	16,171		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,508	16,264	16,171		
	物件費計	33,010	32,918	17,589	24,324	72.3%
歳出計		49,518	49,182	33,760		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		33,010	32,918	17,589	24,324	

5. 総括的分析

総括的分析	課の運営が円滑且つ適正に図られていると判断している。
-------	----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き所管事務等について迅速な処理に努める。